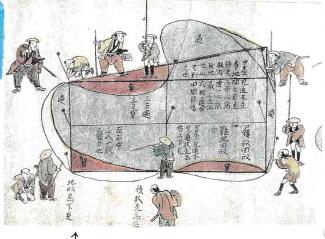
豊臣秀吉が行った2大政策

それまで バラバラだった。ものさしや ますなどの夢準を統一し、 田畑 ーマひとつの大きさを はかり、 収穫量を予測し(石高)で あらわした。

> する統一し、米の体積で表した 収穫局のこと.



検がのようす

看春春

← 調バた内容を材ごとに記録した (槟地帳)

木実地とは土地の調査のことで 秀吉が行った検地を、(太陽模地)という。 「ちなみに太閤とは、摂政や関白を辞めた人のことで"、 秀吉が見子に関印を譲ったのち太閤と14世れていた、

農民が武器をもって一揆などの 反乱を起こさないようにするため

百姓から刀・弓・やり・鉄砲などの武器を取り上げました。

一手発などの百女生の手生抗を防き、

武せと百姓を区別する(兵農分解金)を 百姓が刀・わきざし・弓・や 進めました。 これにより、それぞれの身分が固定 り・鉄砲、その他の武具を所持す され、社会は安定していきました。 ることを固く禁止する。その理由

4 (刀符令)

農民は農業に

は,不必要な武具を持つと,年貢 を納めずに一揆をくわだてること になるので, 大名と家臣は, 百姓 の所持する武具をすべて取り上け 秀吉に差し出すこと。